

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎韓国語	NLA11_004	選択	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
成 昌 燮	教員控室	syosyo_sei	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	隣国である韓国の文字を覚えるとともに、この言語の構造を理解する。韓国語の発音ルールを覚え、簡単な日常挨拶文が読める、書けるようにするのが目的とする。 課題に対する学習や同時双方向型授業を通し、教科書の学習内容の音声聞きながら確認する。練習問題は教科書あるいは送付プリントに書き込み添付ファイルで提出する。フィードバックとして課題提出物の添削・返却(返信)する。				
学習上の助言	韓国語の基本母音・子音・合成母音・パッチムを正確に発音し書けるように練習する。文法的に日本語に似ているが、難しい発音があるので、聞き取り・書き取りにポイントをおいて練習する。必要な内容は DVD を鑑賞しながら確認し、理解を深めて欲しい。				
教科書	トライ韓国語 1/著:朴校熙・黄善英・崔昌玉・木村春菜/白帝社(2018)				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	言語の構造を理解し、文字を覚える			HSU(2)	
②	日常会話ができるように、簡単な会話文を書けるようにする			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	韓国語の言語名称、文字の成立、言語の特徴を学ぶ。基本母音 10 個+合成母音 4 個を学ぶ。10 個+合成母音 4 個を学ぶ。フィードバック:提出課題を教員が添削し返却する。意見交換:メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書を読み課題①を提出	0.5	
2	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音 10 個を学ぶ。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題②を提出	0.5	
3	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 基本母音 10 個を復習、合成母音 4 個を学ぶ。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題③を提出 課題提出物の添削、返信	0.5	
4	第 1 課: 안녕하세요?(こんにちは。) 総合練習問題の文字の辞書順、読み方、書き練習をする。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題④を提出	1	
5	第 2 課: 감사합니다.(ありがとうございます。) 基本子音 14 個(基本字 5 個+加画字 9 個)を学ぶ。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題⑤を提出	0.5	
6	第 2 課: 감사합니다.(ありがとうございます。) ハングルの半切表を書く。子音の「가나다라」の歌を聞き、練習問題を解く。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題⑥を提出	1	
7	第 3 課: 안녕히 가세요. 안녕히 계세요.(さようなら。) 濃音 5 個を学ぶ。練習問題を解く。フィードバック: 提出課題を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡	印刷教材等による授業	教科書読み書き課題⑦を提出	0.5	
8	第 4 課: 고맙습니다.(ありがとうございます。) 「ㄱ」行の合成母音 7 個を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。「ㄱ」の発音変化を復習する。	0.5	
9	第 5 課: 미안합니다.(すみません。) 終声子音(パッチム)を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。パッチムの三大原則をしっかり覚える。	0.5	
10	パッチムの種類、読み方、連音化を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。④～⑤の内容を復習する。	0.5	
11	第 6 課: 처음 뵈겠습니다.(初めまして。) ㅇの弱化、濃音化、激音化、流音化、鼻音化を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。平音・濃音・激音の区別を復習する。	0.5	
12	第 7 課: 대학생입니다.(大学生です。) ~입니다/입니까?(～です/ですか)、~는/은(は)を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。自己紹介できるように復習する。	0.5	
13	第 8 課: 그게 뭐예요?(それは何ですか。) ~예요/이에요.(～です) ~가/이(～が)を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。합니다体と해요体の違いを復習する。	0.5	
14	第 10 課: 漢数字を学ぶ。第 11 課: 固有数字を学ぶ。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	教科書を読む。漢数字と固有数字を復習する	0.5	

[基本教育科目/表現力の養成]

15	定期試験練習問題について解説する。これまでの学習内容を DVD で確認し、韓国ドラマを鑑賞する。フィードバックと意見交換: 授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	テスト範囲の内容を復習する。	7			
試	定期試験 フィードバックと意見交換: 採点して返却						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	50	0	0	0	100
総合 力指 標	知識・技術力	50	50	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を見発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	8 回目から同時双方向型授業に変更、定期試験(筆記試験)結果を 50%で評価する。			試験練習問題プリントを配布し、説明する。	
	②	✓					
レポート	①	✓	1 回目から 7 回目まで印刷教材等による授業行い、課題提出物などを 50%で評価する。			課題提出物の添削、メールで返信(紙媒体は返却)する。	
	②	✓					
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
①～⑦回目は印刷教材等による授業を実施: 学習課題を web 上に提示し、課題提出物を添削・返信する。 ⑧回以降は同時双方向型授業を実施: 15 回目の授業では定期試験練習問題のプリントを配布し、説明する。 Teams による同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の WiFi 環境を奨励する。 今後の新型コロナウイルス感染症状況によって再度シラバスの変更が行われることもある。							
教員の業務経験: 大学入試センター教科科目第一委員会委員を務めた経験がある。 実践的授業の内容: 必要な語彙や文法を学び、日常挨拶文を学習する。							